令和５年度　ふるさと教育推進事業

（様式３）
【学校用】

ふるさと教育　取組事例

学校名	西ノ島町立西ノ島小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 （ひと・もの・こと）
3	総合的な学習	西ノ島の伝統を知ろう	美田十方拝礼保持者会 高橋英康さん
ねらい		〇美田十方拝礼について、インタビューをしたり、実際に体験したりすることを通し西ノ島町で受け継がれてきた伝統文化の良さに気づき、西ノ島町への愛着を高める。（主体性・社会参画） 〇体験的に学び、身近なところから情報を集め、必要な情報に関する聞き取りをしたり、気付いたことなど活動に関する記録に残したりする。（情報収集）	

１　取組の概要
①美田十方拝礼のVTRを見て、知りたいことを考える。
②地域講師にインタビューする。
③美田十方拝礼の楽器と舞の体験を行う。（６時間）
④学習したことを振り返り、どのように発表するか考える。

２　ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。
（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）
〇西ノ島の伝統文化の良さに気づき、西ノ島への愛着を高めるために、美田十方拝礼について、携わっている方にインタビューをしたり、指導してもらい楽器や舞を習得したりする。特に長年携わっている地域講師の方の思いに触れるようインタビューや振り返りの際に、児童の発言や記載内容を広げ、全体に気づかせていくようにする。

（学力育成の視点から）
〇地域の人との出会いや体験を通して、自分たちが調べたいことや伝えたいことを明確にするとともに表現する力を高める。

３　児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）
（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）
〇古くから続く伝統文化の歴史を学び、美田十方拝礼に対する理解を深めた。また、ふるさとに貢献する人々の思いに触れ、西ノ島に対して誇りや愛着の念を深めた。
〇授業以外でも祭りで見たい、大人になったら参加したいと興味を持った児童がいた。

（学力育成の視点から）
〇必要となる情報を質問したり、さらに資料を探したりした。また、学習を深めよりよい発表となるように児童が進んで学習に取り組んだ。

４　課題や今後の展望
〇教職経験が浅い教員が多く、十分な体験活動をしてもそこから課題を見つけ広げ深めていくための技術が不足している。学年始休業、夏季休業等を利用して教職員一人一人のスキルアップと年間計画、指導計画などの修正や作成をしていきたい。
〇地元出身の教員が少ないため学校だけで考えていくのではなく、公民館スタッフ、お世話になった地域の方々を交えながら活動を行っていけるようにしていきたい。

＊取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
（このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。）

令和５年度　ふるさと教育推進事業

＊取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
（このデータを HP 等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。）